



創立140周年

とべだより

令和元年5月31日

6月号

横浜市立戸部小学校

全校遠足

学校長 柳澤 潤



5月10日の創立140周年記念式典・祝賀会は、多くの皆様の応援をいただき、厳かに、そして盛大に、行うことができました。来賓の皆様、地域の皆様、関係者の皆様、誠にありがとうございました。また、実行委員会の皆様には、準備、運営等、あらゆる面で精力的に支えていただきました。紙面を借りて、重ねて感謝を申し上げます。

戸部小学校は、令和の新時代を創立140周年のお祝いでスタートしました。今回の「とべだより」の紙面には、子ども式典の様子もお伝えしています。子どもたちの喜びの声をぜひ、お読みいただければと思います。

5月24日には、戸部小の全校遠足がありました。遠足場所は、徒歩圏内の掃部山公園、野毛山公園、野毛山動物園です。何が特色なのかというと、1年生から6年生までの異学年のグループで、遠足を行うことです。このグループは、4月に学校が始まってすぐに編成され、1年生を迎える会が初めての顔合わせでした。1グループは10名程度で、とべフレグループと呼んでいます。

出発の会のプログラムには、「とべとべコール」があります。いずれの行事にも、とべとべコールがあり、「全力・本気」が一気に高まります。コールですから、みんなで声をかけあいながら、会場全体の雰囲気を高めていきます。ここには、先生方の指導があり、子どもの中には、今まで見てきた先輩の姿があり、真剣さが伝統としてつながっています。とべとべコールは、学校目標そのものです。「それぞれとべ、みんなでとべ、ゆめいっぱいとべ」とコールします。なんといっても6年生は、力強く見事です。戸部小の行事は、子ども一人ひとりが異学年とのかかわりの中で、大きく成長する特別な日なのです。

この日も、6年生が右手に1年生、左手に2年生と、手をつないで遊ぶ姿が見られました。2年生が1年生の手を取り、道案内する姿もありました。甘えて飛びつく姿もありました。子どもは仲良しになる天才です。異学年とのかかわりであっても、個の違いを受け止め、仲良しになろうとの気持ちを発揮することができます。戸部小では、異学年での交流の機会を定期的につくっています。

学級での育ち、学年での育ち、係での育ち、異学年交流での育ちなど、あらゆる環境が、子どもの成長の舞台です。周年にかかわり、6年生が児童代表として式典に参加させていただいたことも、大きな成長の機会となりました。

子どもたちにとって、特別な一年になりそうです。今月も、どうぞよろしくお願ひします。